

2015 年農林業センサス

農林業経営体調査結果報告書

(平成 27 年 2 月 1 日調査)

酒田市企画振興部情報管理課

ま え が き

この報告書は、農林水産省が平成27年2月1日現在で実施した2015年農林業センサス農林業経営体調査の本市分の結果をまとめたものです。

この調査は、農林業の生産構造及び就業構造等の実態や農山村地域の実態を把握するため、昭和25年以降10年ごとに世界農林業センサスとして実施するとともに、その中間年に農業センサスを実施しており、今回は農業では14回目、林業では8回目の調査に当たります。

この調査結果が本市の農業の現状と動向を把握する基礎資料として広くご活用いただければ幸いです。

最後に、この調査にあたりご協力をいただきました農林業経営体の皆様をはじめ調査員、農業関係各位に対し深く感謝を申し上げますとともに、今後ともなお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年1月

酒田市企画振興部情報管理課
課長 渡会 恭司

目 次

利用者の方へ	1
《農家について》	
1 総農家数	4
2 専兼業別農家数《販売農家数》	4
3 自営農業に主として従事した年齢別世帯員数	4
《経営耕地について》	
1 経営耕地面積《農業経営体（総数）》	5
2 経営耕地面積《農業経営体（家族経営）》	5
3 経営耕地面積規模別経営体数《農業経営体（総数）》	6
4 経営耕地面積規模別の経営耕地面積と構成比《農業経営体（総数）》	6
《農業生産及び販売について》	
1 過去1年間に稲を作った農業経営体数（総数）と経営耕地面積	7
2 過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室のある農業経営体数（総数）と施設面積	7
3 家畜等を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数《農業経営体（家族経営）》	7
4 農産物販売金額規模別農業経営体数《総数》	8
5 農産物販売金額規模別農業経営体数《家族経営》	9
《旧村別集計表》	
1 総農家数及び土地持ち非農家数	10
2 経営耕地面積《農業経営体（総数）》	11
3 経営耕地面積規模別経営体数《農業経営体（総数）》	12

【利用者の方へ】

1 2015年農林業センサス農林業経営体調査の概要

調査の目的

この調査は、農林業の生産構造、農業・林業生産の基礎となる諸条件等を総合的に把握することによって、農林業の基本構造の現状と動向を明らかにし、農林業施策及び農林業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備することを目的としています。

調査の期日

平成27年2月1日現在

2 利用上の注意

数値について

今回公表の数値は、確定値です。調査結果の概要及び付表の数値については秘密保護の観点から公表しないものがあるため、総数とその内訳を合計したものとが一致しない場合があります。

表中の符号について

- 「-」は事実のないもの
- 「0」は単位に満たないもの
- 「△」は減少したもの
- 「×」は秘密保護の観点から公表しないもの

3 定義及び約束事項

農業経営体

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

- (1) 経営耕地面積が30a以上の規模の農業
- (2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数その他の事業の規模が次の農林業経営体の外形基準以上の農業
 - ①露地野菜作付面積 15 a
 - ②施設野菜栽培面積 350 m²
 - ③果樹栽培面積 10 a
 - ④露地花き栽培面積 10 a
 - ⑤施設花き栽培面積 250 m²
 - ⑥搾乳牛飼養頭数 1 頭

- ⑦肥育牛飼養頭数 1 頭
- ⑧豚飼養頭数 15 頭
- ⑨採卵鶏飼養羽数 150 羽
- ⑩ブロイラー年間出荷羽数 1,000 羽

⑪調査期日前 1 年間における農業生産物の総販売額 50 万円に相当する事業の規模

(3) 農作業の受託の事業

農 家	平成 27 年 2 月 1 日現在の経営耕地面積が 10 a 以上の世帯又は調査期日前 1 年間の農産物販売金額が 15 万円以上の世帯をいう。なお、集落営農等協業経営体の参加者については、その経営体へ出資している経営耕地を除いて上記の条件を満たす場合に該当する。
販 売 農 家	経営耕地面積が 30 a 以上又は調査期日前 1 年間の農産物販売金額が 50 万円以上の農家をいう。
自 給 的 農 家	経営耕地面積が 30 a 未満で、かつ調査期日前 1 年間の農産物販売金額が 50 万円未満の農家をいう。
土 地 持 ち 非 農 家	農家以外で耕地及び耕作放棄地を 5 a 以上所有している世帯をいう。
専 業 農 家	世帯員の中に兼業従事者が 1 人もいない農家をいう。
兼 業 農 家	世帯員の中に兼業従事者が 1 人以上いる農家をいう。
第 1 種 兼 業 農 家	農業所得を主とする兼業農家をいう。
第 2 種 兼 業 農 家	農業所得を従とする兼業農家をいう。
経 営 耕 地	農業経営体が経営している耕地（田、畑及び樹園地の計）をいう。 経営耕地＝所有地（田、畑、樹園地） －貸付耕地－耕作放棄地＋借入耕地

4 経営耕地の取扱いについての留意点

(1) 今回の調査は、集落営農組織等の協業経営体も調査対象となっているため、集落営農等協業経営体で経営している耕地については、農家の経営耕地面積には含まれず、協業経営体の経営耕地として扱っています。

(2) 他の市町村や他の都道府県に通って耕作している耕地でも、すべてその農林業経営体の経営耕地として扱います。したがって、本市の経営耕地面積として計上されているものは、本市に居住している農林業経営体が経営している経営耕地の面積であり、いわゆる属人統計です。

《農家について》

1 総農家数

平成27年2月1日現在の本調査における農家数は、2,477戸となり、前回に比べ228戸(8.4%)減少した。

(注意) ※ 本調査において集落営農等協業経営体で経営している耕地は農家の経営耕地とはせず、協業経営体の経営耕地として扱うため、その部分を農家の経営耕地から除いた上で、農家の条件を満たす場合のみ農家数として計上されている。

そのため、例えば所有するすべての土地を集落営農等で経営していた場合、本調査における『農家数』には含まれない。

<表1> (単位:戸、%)

区分	総農家数	対前回	
		増減数	増減率
平成27年	2,477	△ 228	△ 8.4
22年	2,705		

2 専兼業別農家数《販売農家数》

専兼業別農家数をみると、「専業農家」は430戸(構成比24.4%)、「第1種兼業農家」は501(同28.4%)、「第2種兼業農家」は830戸(同47.2%)となっている。

本調査において、集落営農等協業経営体で経営する耕地は、農家の経営耕地とはせず、その組織の経営耕地として計上し、販売農家であるか否かはその耕地以外の部分で条件に該当するかで判断される。

<表2> (単位:戸、%)

区分	販売農家数	専業農家		兼業農家					
		計	構成比	計	構成比	第1種	構成比	第2種	構成比
平成27年	1,761	430	24.4	1,331	75.6	501	28.4	830	47.1
22年	1,925	351	18.2	1,574	81.8	537	27.9	1,037	53.9

※(参考)本市の集落営農組織(特定農業団体)数(平成27年2月1日現在) 42組織

特定農業団体からの法人化数(平成27年2月1日現在) 27組織 (本市農政課より)

3 自営農業に主として従事した年齢別世帯員数

実数については、65歳~74歳の男で増加、同区分の女で大きく変わらないほかは、いずれの区分においても前回に比べ減少した。

年齢の構成比については、前回に比べ39歳以下は大きく変わらず、40~64歳で男女とも減少、65歳~74歳で男女とも増加した。また、75歳以上の割合は男女ともに微減となっている。

<表3>

(単位:人、%)

区 分		計		39歳以下		40歳～64歳		65歳～74歳		75歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成27年 ※	実数	1,697	1,433	171	84	636	531	525	457	365	361
	構成比	100.0	100.0	10.1	5.9	37.5	37.1	30.9	31.9	21.5	25.2
22年	実数	1,752	1,602	187	96	715	638	445	455	405	413
	構成比	100.0	100.0	10.7	6.0	40.8	39.8	25.4	28.4	23.1	25.8
構成比増減				△ 0.6	△ 0.1	△ 3.3	△ 2.8	5.5	3.5	△ 1.6	△ 0.6

※ 「自営農業」には、集落営農等協業経営体で従事した部分は含まれない。

《経営耕地について》

1 経営耕地面積 《農業経営体（総数）》

すべての農業経営体をあわせた経営耕地面積は、前回調査に比べ、36,277a(3.3%)減少した。内訳としては、田の経営耕地面積は28,924a(2.9%)減少、畑の経営耕地面積は3,553a(4.4%)減少、樹園地の経営耕地面積は3,800a(19.4%)減少した。

<表4>

(単位:a、%)

区 分	経営耕地面積		田		畑		樹園地	
	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率
平成27年	1,073,245	△ 3.3	979,526	△ 2.9	77,966	△ 4.4	15,753	△ 19.4
22年	1,109,522		1,008,450		81,519		19,553	

2 経営耕地面積 《農業経営体（家族経営）》

家族経営の農業経営体の経営耕地面積は、前回調査に比べ、62,006a(12.0%)増加した。内訳としては、田の経営耕地面積は73,155a(17.4%)の増加、畑の経営耕地面積は7,279a(9.7%)の減少、樹園地の経営耕地面積は3,870a(19.8%)減少した。

<表5>

(単位:a、%)

区 分	経営耕地面積		田		畑		樹園地	
	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率	面積	対前回増減率
平成27年	578,009	12.0	494,725	17.4	67,638	△ 9.7	15,646	△ 19.8
22年	516,003		421,570		74,917		19,516	

3 経営耕地面積規模別経営体数《農業経営体（総数）》

農業経営体数（総数）は、前回調査に比べ229経営体減少した。内訳では3.0ha以上～20.0ha未満では増加したが、そのほかの0.5ha未満以上～3.0ha未満、20.0ha以上では減少した。構成比をみると、前回調査に比べ2.0ha未満と100.0ha以上では減少し、2.0ha以上では増加した。

＜表6＞ (単位:経営体、%)

区分	経営体数		構成比		
	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年	増減
計	1,908	2,137	100.0	100.0	-
0.5ha未満	282	406	14.8	19.0	△ 4.2
0.5～1.0	275	391	14.4	18.3	△ 3.9
1.0～2.0	368	420	19.3	19.6	△ 0.3
2.0～3.0	229	243	12.0	11.4	0.6
3.0～5.0	309	276	16.2	12.9	3.3
5.0～20.0	362	309	19.0	14.5	4.5
20.0～100.0	75	80	3.9	3.7	0.2
100.0ha以上	8	12	0.4	0.6	△ 0.2

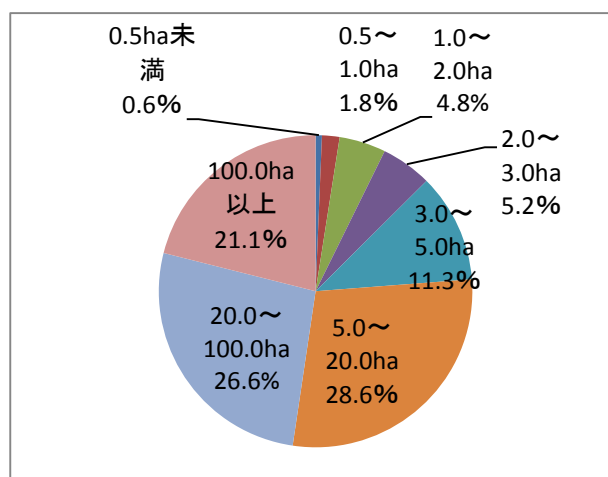
4 経営耕地面積規模別の経営耕地面積と構成比《農業経営体（総数）》

経営耕地面積規模別の経営耕地面積の構成比をみると、経営耕地規模が20.0ha以上のものが経営耕地の約半数を占める。これは、集落営農等協業経営体や農業生産法人が占めるところが大きい。

＜表7＞ (単位:a、%)

区分	実面積 平成27年	構成比 平成27年
計	1,073,245	100.0
0.5ha未満	6,967	0.6
0.5～1.0	19,443	1.8
1.0～2.0	51,579	4.8
2.0～3.0	56,267	5.2
3.0～5.0	120,948	11.3
5.0～20.0	306,504	28.6
20.0～100.0	285,543	26.6
100.0ha以上	225,994	21.1

図1 経営耕地面積規模別の経営耕地面積構成比



《農業生産及び販売について》

1 過去1年間に稲を作った農業経営体数（総数）と経営耕地面積

経営体数は、前回調査に比べ12経営体（0.9%）増加した。また、稲を作った田の面積は、前回調査に比べ54,250a（7.1%）増加した。

<表8> (単位:経営体、a、%)

区分	経営体数	稲を作った田の 経営耕地面積
平成27年	1,313	823,378
22年	1,301	769,128
増減数	12	54,250
増減率	0.9	7.1

2 過去1年間に施設園芸に利用したハウス・ガラス室のある農業経営体数（総数）と施設面積

施設園芸のある農業経営体数（総数）は、前回調査に比べ80経営体（12.1%）減少した。面積については2,789a（16.7%）減少した。面積を経営体数で除した平均面積は1.4a（5.6%）減少した。

<表9> (単位:経営体、a、%)

区分	経営体数	面積	平均面積
実数 平成27年	583	13,904	23.8
22年	663	16,693	25.2
増減数	△80	△2,789	△1.4
増減率	△12.1	△16.7	△5.6

3 家畜等を販売目的で飼養している経営体数と飼養頭羽数《農業経営体（家族経営）》

飼養している農業経営体（家族経営）について、前回調査に比べ、乳用牛は7経営体で8経営体（53.3%）の減少、肉用牛は42経営体で20経営体（32.3%）の減少、豚は11経営体で4経営体（26.7%）の減少、採卵鶏は2経営体で2経営体（50.0%）減少した。また、頭羽数については、乳用牛が270頭（59.1%）の減少、肉用牛が782頭（34.2%）の減少、豚が849頭（14.1%）減少した。

<表10>

(単位:経営体、頭、羽、%)

区 分	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	飼 養 経営体 数	頭数	飼 養 経営体 数	頭数	飼 養 経営体 数	頭数	飼 養 経営体 数	羽数	
実 数	平成27年	7	187	42	1,504	11	5,188	2	×
	22年	15	457	62	2,286	15	6,037	4	5,275
増減数	△ 8	△ 270	△ 20	△ 782	△ 4	△ 849	△ 2	×	
増減率	△ 53.3	△ 59.1	△ 32.3	△ 34.2	△ 26.7	△ 14.1	△ 50.0	×	
一経営体 あたり 頭羽数	平成27年	26.7		35.8		471.6		×	
	22年	30.5		36.9		402.5		1318.8	

4 農産物販売金額規模別農業経営体数《総数》

県全体と比べ、200万円以上の経営体の割合が高く、50万円未満以上～200万円未満の区分の経営体の割合が低くなっている。

<表11>

(単位:経営体、%)

区分	平成27年酒田市		(参考)平成27年山形県		構成比 比較
	経営体数	構成比	経営体数	構成比	
計	1,908	100.0	33,820	100.0	-
販売なし	72	3.8	1,203	3.6	0.2
50万円未満	145	7.6	6,465	19.1	△ 11.5
50～100	178	9.3	5,455	16.1	△ 6.8
100～200	295	15.5	5,954	17.6	△ 2.1
200～300	275	14.4	3,790	11.2	3.2
300～500	306	16.0	4,000	11.8	4.2
500～700	175	9.2	2,175	6.4	2.8
700～1,000	168	8.8	2,081	6.2	2.6
1000～1,500	139	7.3	1,332	3.9	3.4
1,500～2,000	46	2.4	500	1.5	0.9
2,000～3,000	48	2.5	372	1.1	1.4
3,000～5,000	32	1.7	265	0.8	0.9
5,000万～1億円	18	0.9	131	0.4	0.5
1億円以上	11	0.6	97	0.3	0.3

5 農産物販売金額規模別農業経営体数《家族経営》

前回調査と比べ、販売なし～100万円未満、700万円以上～1,000万円未満の経営体数は減少、100万円以上～200万円未満の経営体数は不変、200万円以上～700万円未満、1,000万円以上の経営体数は増加した。構成比をみると、前回調査に比べ、販売なし～100万円未満の経営体の割合が減少し、100万円以上の経営体の割合が増加した。

<表12>

(単位:経営体、%)

区分	経営体数		経営体数 増減	構成比		構成比 増減
	平成27年	平成22年		平成27年	平成22年	
計	1,774	1,985	△ 211	100.0	100.0	-
販売なし	31	116	△ 85	1.7	5.8	△ 4.1
50万円未満	145	281	△ 136	8.2	14.2	△ 6.0
50～100	177	242	△ 65	10.0	12.2	△ 2.2
100～200	292	292	0	16.5	14.7	1.8
200～300	273	207	66	15.4	10.4	5.0
300～500	306	290	16	17.2	14.6	2.6
500～700	172	170	2	9.7	8.6	1.1
700～1000	162	174	△ 12	9.1	8.8	0.3
1000万円以上	216	213	3	12.2	10.7	1.5

《旧村別集計表》

1 総農家数及び土地持ち非農家数

※本調査における農家数とは、集落営農等協業経営体に属している土地を経営耕地から除いた上で、農家の条件を満たす者のみ計上されている。

例えば、所有するすべての土地を集落営農で行っていた場合、『農家』には含まれず、『土地持ち非農家』へ計上される。

<表13>

(単位:戸)

旧村名	総農家数	農家数		土地持ち 非農家数
		販売農家 数	自給的 農家数	
酒田市	138	100	38	268
新堀村	29	14	15	344
広野村	76	55	21	221
袖浦村	472	387	85	371
東平田村	89	58	31	268
中平田村	121	98	23	251
北平田村	42	19	23	243
上田村	104	88	16	149
本楯村	153	108	45	215
南遊佐村	87	52	35	120
西荒瀬村	173	109	64	157
飛島村	-	-	-	79
一条村	77	52	25	138
観音寺村	140	83	57	129
大沢村	81	46	35	72
日向村	104	76	28	110
上郷村	85	55	30	205
松嶺町	22	11	11	79
内郷村	103	71	32	194
南平田村	197	151	46	295
田沢村	127	81	46	149
北俣村	57	47	10	75
合計	2,477	1,761	716	4,132

2 経営耕地面積《農業経営体（総数）》

<表14>

(単位:a)

旧村名	経営耕地 総面積	面積		
		田の面積	畑の面積	樹園地の 面積
酒田市	63,242	61,160	1,953	129
新堀村	65,021	64,858	155	8
広野村	64,350	62,950	1,177	223
袖浦村	89,974	41,303	42,380	6,291
東平田村	64,309	62,707	902	700
中平田村	89,433	87,621	1,671	141
北平田村	61,699	61,628	67	4
上田村	58,418	55,767	2,609	42
本楯村	69,004	63,458	1,348	4,198
南遊佐村	44,403	42,459	1,924	20
西荒瀬村	51,994	45,983	5,835	176
飛島村	-	-	-	-
一条村	34,053	32,636	684	733
観音寺村	32,534	31,020	1,449	65
大沢村	16,204	15,113	1,091	-
日向村	41,618	33,735	7,688	195
上郷村	47,849	45,940	1,683	226
松嶺町	2,190	1,915	105	170
内郷村	54,528	51,055	2,082	1,391
南平田村	75,945	72,346	2,602	997
田沢村	31,957	31,687	266	4
北俣村	14,520	14,185	295	40
合 計	1,073,245	979,526	77,966	15,753

3 経営耕地面積規模別経営体数《農業経営体（総数）》

<表15>

(単位:経営体)

旧村名	計	経営耕地なし	0.3ha未満	0.3～0.5ha	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0～30.0	30.0～50.0	50.0～100.0	100ha以上
酒田市	113	6	11	11	14	4	9	11	17	19	6	2	-	3	-
新堀村	26	5	6	2	-	-	-	-	3	2	-	1	2	2	3
広野村	64	1	2	4	5	3	2	3	5	19	13	2	3	2	-
袖浦村	398	8	10	27	84	83	46	51	46	32	10	1	-	-	-
東平田村	62	3	7	11	7	1	1	7	10	13	1	-	-	-	1
中平田村	110	4	2	2	1	6	-	10	38	31	6	3	4	3	-
北平田村	20	1	3	4	3	2	-	1	3	2	-	-	-	-	1
上田村	98	2	4	3	14	4	5	13	25	17	4	4	2	1	-
本楯村	111	4	15	18	22	18	7	4	8	10	4	-	-	-	1
南遊佐村	57	4	1	7	9	4	1	4	12	13	-	1	-	-	1
西荒瀬村	119	4	5	10	25	10	4	8	20	26	3	1	2	1	-
飛島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一条村	58	1	1	3	3	6	7	7	15	7	4	2	1	1	-
観音寺村	86	1	1	1	11	9	11	19	15	9	8	1	-	-	-
大沢村	49	1	-	5	10	10	3	7	5	4	2	2	-	-	-
日向村	83	1	-	6	10	5	11	18	19	7	-	2	3	1	-
上郷村	67	3	5	7	2	7	7	15	7	3	5	2	3	-	1
松嶺町	11	-	-	2	4	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-
内郷村	79	1	1	6	6	6	11	13	10	9	6	5	5	-	-
南平田村	162	5	3	8	16	19	10	15	38	31	14	2	-	1	-
田沢村	86	-	-	8	18	12	9	14	9	11	2	1	2	-	-
北俣村	49	1	-	4	11	6	7	9	3	6	1	1	-	-	-
合計	1,908	56	77	149	275	217	151	229	309	273	89	33	27	15	8

